

2023年度

事業計画書・収支予算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

一般社団法人

日本音楽作家団体協議会

(FCA)

《事業計画》

新型コロナウイルス感染症への対策と社会経済活動を両立させていく政府方針のもと各種制限の緩和・撤廃が進んでいる。コロナ禍を通じて我々の生活様式を含む社会の在り方は大きく変化した。**FCA**としても社会の変化に対応し、新たな社会における音楽作家のための活動に取り組んでいく必要がある。

2023年度の事業計画の策定に当たっては、**JASRAC**ほか権利者団体と連携して音楽创作者の権利と利益の保護に貢献することを基本方針とした。

また著作権対策委員会の答申を踏まえて制作者との契約関係の適正化に向けた活動を本格化すること、**FCA**の活動を広く周知するための広報活動を正会員団体とも連携して実施することを重点項目とした。

また本年**6**月の定時社員総会をもって役員・委員の任期が満了することから新体制の選任と移行を滞りなく進める。

I 著作権の保護のための活動

1 制作者との契約関係の適正化のための取り組み

制作者との契約関係の適正化を図るため、著作権対策委員会の第一次答申に基づき協議方針を策定して協議を開始する。

協議方針の策定にあたっては、協議を行う制作者及び適正化を図る契約の優先順位に留意する。また協議にあたっては専門家の知見を充分得ながら進める。

2 楽譜の無断複製への取り組み

楽譜コピー問題協議会(**CARS**)の一員として、楽譜の無断コピーを防止し適正利用を促進する啓発活動を実施する。

3 国際的な取り組み

日本の音楽作家団体の代表として**CIAM**（国際音楽创作者評議会）の地域組織である**APMA**（アジア・太平洋音楽创作者連盟）の活動に参加し、アジア・太平洋地域の音楽创作者の権利及び利益の保護の強化を図る。

II 組織体制・財政基盤の強化のための活動

1 正会員団体との連携強化について

構成員である正会員団体と連携強化を図り、正会員団体の事業に対する後援等の支援を行う。

2 会費について

2022年度に変更した定款細則 会費に関する規程に基づき新たな会費制度に移行する。

3 JASRACによる音楽作家団体に対する支援について

JASRACに対し正会員団体およびFCAに対する支援の在り方について検討を求めていく。

4 広報活動について

- (1) FCAの活動を報告する「FCAだより」を定時発行して、FCAの認知度を高める広報を会員団体と連携して実施する。
- (2) HPやSNSを活用してFCAの活動を広く周知する広報を実施する。
- (3) 制作者との協議に備え音楽作家の問題意識を幅広く捉えるためWEBアンケートを継続して実施する。
- (4) バイアウト(権利の買い取り)や楽曲コンペに関する著作権啓発リーフレットを作成して配布する。
- (5) (1)から(4)の媒体を利用して著作権契約に対する音楽作家の理解を深める広報活動を行う。

5 各委員会について

(1) 著作権対策委員会

制作者との契約関係の適正化を図るため、協議方針を策定して協議を開始する。

(2) 楽譜複製・複写問題対策委員会

楽譜コピー問題協議会(CARS)において、楽譜の無断コピー防止等の活動を行う。

(3) 広報委員会

FCAが行う広報活動について検討して答申を完了し、役割を果たした。今後、新たに検討事項が生じた際、必要に応じて委員会を設置する。

6 役員・委員の選任について

役員・委員の任期満了に伴う新体制の選任と移行を滞りなく進める。

III その他

業務効率化のためリモートによる会議の開催、オンラインによる業務の実施を進める。

以 上

《収支予算》

I 収入について

1 会費について

(1) 正会員会費

正会員団体の**2023年3月**末時の会員数を推定して計上した。請求額は各団体から会員数の報告を受けて確定した後、**6月**の理事会で報告する。

(2) 賛助会員会費

賛助会員**6**法人について**2022**年度会費と同額を計上した。

2 助成金について

2023年度の広報事業のうち**WEB**アンケートの実施と報告及びバイアウト(権利の買い取り)・楽曲コンペに関する著作権啓発リーフレットの作成と配付について**JASRAC**から助成を受けることとし、助成金取扱基準に基づき当該費用の**1/2**を計上した。

II 支出について

1 会議費について

総会・理事会・常任理事会・監事会の車代・通信費については、**2022**年度と同程度の開催を前提に、次期の正会員代表者と役員の数に基づいて計上した。

委員会のうち楽譜複製・複写問題対策委員会については**2022**年度と同程度の開催を前提に、また著作権対策委員会については制作者との協議を始めること、専門家の知見を得るため法律相談等を行うことを前提に開催数を増やして、それぞれ車代・通信費を計上した。広報委員会は当面、設置しないため費用を計上しない。

また定時社員総会後に懇親会を開催することとし、**2019**年度の支出実績を参照して懇親会費と会員団体事務局員への謝金を計上した。

また著作権対策委員会の法律相談等に対応するため法律顧問を置くことを前提に顧問料を計上した。

2 事業費について

CARSの会費については減額されることを前提に計上した。文化芸術推進フォーラム関連の活動費については**2023年3月末**で退会するため計上しない。

3 広報費について

2022年度から継続して実施する広報活動（**HP**の更新、**FCA**だよりの発行、動画の制作、**WEB**アンケートの実施、**MPA**名簿への広告掲載）に係る費用については**2022**年度の実績を参照して計上した。

新たに実施する広報活動（著作権啓発リーフレットの作成、**WEB**メディアを利用した**PR**）に係る費用については概算で計上した。

4 交際費について

FCAが後援する正会員団体の事業に祝花を提供する費用を慶弔費として計上した。祝花提供には正会員団体の会員作家に**FCA**を知らしめる効果も期待する。その他慶弔に係る社交・儀礼については社会通念上、妥当と認められる金額の範囲内で費用を支出することとし、**2022**年度予算と同額を計上した。

また関係団体が懇親会の開催を順次回復させることを想定して**2019**年度の支出実績を参照して参加費を計上した。

5 通信費について

2022年度の支出推定に**FCA**だより（年**3**回→**4**回）と著作権啓発リーフレットの発送に係る郵便料を追加して計上した。

6 印刷費について

封筒等印刷物の在庫を勘案して補充に必要な範囲で費用を計上した。

7 雑件費について

2022年度の支出推定に会議費の増加分の振込手数料を追加して計上した。

8 諸団体加盟費について

CRICについては正会員から賛助会員に身分を変更し、賛助会員会費を計上した。文化芸術推進フォーラムについては**2023年3月末**で退会するため会費を計上しない。

9 その他の予算について

2022年度と同程度の支出を見込む。**2022**年度予算と同額を計上した。

2023年度収支予算

〈収入の部〉

(単位：円)

科目	2023年度予算額	2022年度予算額	2022年度推定額	予算比	推定比
会費収入	4,243,000	4,800,000	4,931,250	88.4%	86.0%
(正会員会費)	2,743,000	3,300,000	3,431,250	83.1%	79.9%
(賛助会員会費)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	100.0%	100.0%
助成金	300,000	0	0	—	—
雑収入	0	0	0	—	—
利息収入	130	160	130	81.3%	100.0%
前年度繰越金	15,503,871	13,453,238	13,582,491	115.2%	114.1%
合計	20,047,001	18,253,398	18,513,871	109.8%	108.3%

〈支出の部〉

(単位：円)

科目	2023年度予算額	2022年度予算額	2022年度推定額	予算比	推定比
会議費	2,260,000	1,350,000	886,000	167.4%	255.1%
事業費	200,000	500,000	400,000	40.0%	50.0%
広報費	1,125,000	1,182,000	868,000	95.2%	129.6%
交際費	395,000	400,000	245,000	98.8%	161.2%
交通費	5,000	5,000	0	100.0%	—
通信費	66,000	40,000	49,000	165.0%	134.7%
印刷費	20,000	40,000	13,000	50.0%	153.8%
雑件費	42,000	40,000	37,000	105.0%	113.5%
消耗品費	22,000	22,000	22,000	100.0%	100.0%
諸団体加盟費	50,000	400,000	400,000	12.5%	12.5%
図書費	5,000	5,000	0	100.0%	—
法人関係費	100,000	100,000	90,000	100.0%	111.1%
事業支出 計	4,290,000	4,084,000	3,010,000	105.0%	142.5%
次期繰越金	15,757,001	14,169,398	15,503,871	111.2%	101.6%
合計	20,047,001	18,253,398	18,513,871	109.8%	108.3%

2023年度支出予算内訳

(単位：円)

科目	内訳	予算額
会費	出席者車代	総会・理事会(6月開催) 5,000 * 27名 * 1回 135,000
		理事会(12、3月開催) 5,000 * 22名 * 2回 220,000
		常任理事会 5,000 * 2名 * 4回 40,000
		監事会 5,000 * 1名 * 2回 10,000
		諸委員会
		著作権対策委員会(全体会議) 0
		著作権対策委員会(協議・法律相談等) 5,000 * 4名 * 4回 80,000
		楽譜複製・複写問題対策委員会 0
		広報委員会 0
	通信費	総会・理事会(6月開催) 5,000 * 6名 * 1回 30,000
		理事会(12、3月開催) 5,000 * 6名 * 2回 60,000
		常任理事会 5,000 * 6名 * 4回 120,000
		監事会 5,000 * 1名 * 2回 10,000
		諸委員会
		著作権対策委員会(全体会議) 5,000 * 12名 * 8回 480,000
		著作権対策委員会(協議・法律相談等) 5,000 * 4名 * 4回 80,000
		楽譜複製・複写問題対策委員会 5,000 * 3名 * 3回 45,000
		広報委員会 0
		外部会議 5,000 * 1名 * 4回 20,000
	懇親会費	総会后懇親会飲食費 300,000
謝金	会員団体事務局員への総会手伝い謝金 5,000 * 2名 * 1回 10,000	
諸費	コーヒー、お茶等 20,000	
顧問料	法律顧問への報酬(著作権対策委員会対応) 600,000	
	会費 計	2,260,000
事業費	CARS会費(事業費分担分)	200,000
	啓蒙活動費(文化芸術推進フォーラム関連他)	0
	事業費 計	200,000
広報費	ホームページ管理費用	
	保守管理料	170,000
	ページ作成・更新費	310,000
	広告掲載(MPA名簿)	55,000
	FCAの2022年度の活動を周知する広報	
	FCAだより制作費	10,000 * 4回 40,000
	動画制作費	30,000 * 3回 90,000
	WEBメディア広告宣伝費	30,000 * 1回 30,000
	アンケート実施に係る委託費用	400,000
	バイアウト・楽曲コンペに関する啓もう・啓発	
リーフレット制作費	30,000	
	広報費 計	1,125,000

2023年度支出予算内訳

(単位：円)

科目	内訳		予算額	
交際費	慶弔費	祝花（正会員団体後援事業他）	15,000 * 13回	195,000
		弔慰金・弔花・弔電・見舞い		100,000
	参加費	他団体懇親会参加費	10,000 * 10回	100,000
		議連関連パーティ参加費		0
		月例著作権研究会		0
	折衝費	内外関係者との打ち合わせ費用		0
		交際費 計	395,000	
交通費	事務局交通費等		5,000	
		交通費 計	5,000	
通信費	郵便・宅急便等		66,000	
		通信費 計	66,000	
印刷費	封筒・名刺・年賀状等		20,000	
		印刷費 計	20,000	
雑件費	振込手数料等		42,000	
		雑件費 計	42,000	
消耗品費	文房具等（JASRAC総務部に一括払い）		22,000	
		消耗品費 計	22,000	
諸団体加盟費	諸団体加盟費	CRIC賛助会費	50,000	
		文化芸術推進フォーラム会費	0	
		諸団体加盟費 計	50,000	
図書費	書籍等購入費		5,000	
		図書費 計	5,000	
法人関係費	租税公課	法人住民税均等割	70,000	
	諸費	役員変更登記、各種証明書手数料	30,000	
		法人関係費 計	100,000	
事業支出 計		事業支出 計	4,290,000	
次期繰越金	2022年度支出残金		15,757,001	
		繰越金 計	15,757,001	
総合計		総合計	20,047,001	